

バリアフリー-2017 で大阪府理学療法士会がブース出展と研修会を開催

～ブース相談件数 133 件・研修会 274 名参加～

社会局局长 羽田晋也 社会局担当理事 鹿山英明

平成 29 年 4 月 20 日（木）～22 日（土）にインテックス大阪で第 23 回高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展（バリアフリー-2017）が開催されました。3 日間で来場者数は 91,356 人で、社会局ではご来場者に向け「リハビリテーション相談」をテーマにしたブース出展と「移乗動作の介護方法 ～重症度の違いによる介護方法と福祉機器の選択～」をテーマとした介護技術についての研修会を開催しました。ブース相談件数は 133 件、研修会参加者は 274 名と多くの方々にご参加頂きました。

最後に、開催にあたり府士会員の皆様方には多大なるご理解・ご協力を賜り誠に御礼申し上げます。開催状況は <http://barrierfree.jp/> でご覧頂けます。

「リハビリテーション相談」ブース出展

リハビリテーションに関する相談を行うブースを設け、多くの皆様にご参加いただきました。自主トレーニングの方法や介助方法、リハビリテーションを受けられる施設、制度のことなど多くの相談が寄せられました。ブース内には、府士会で作成した「介護技術講習会テキスト」に基づいた介助方法を紹介するパネルを展示し、さらに介助方法を具体的に説明するため会場内にベッドを設置し、実演も行いました。このような大きなイベントで多くの方々に高齢者・障がい者の快適な生活を提案することによって、理学療法の専門的な知識及び技術の普及・啓発する良い機会になりました。



「移乗動作の介助方法」研修会

府士会員の山崎 貴峰氏に講師をして頂き、「移乗動作の介護方法 ～重症度の違いによる介護方法と福祉機器の選択～」というテーマでご講演頂きました。内容は、介助技術のための基礎知識、介助に活かされる力学的知識や、移乗動作の介助方法、福祉機器を使用した介助方法とその使い分けなどをお話し頂きました。受付開始から多くの方が来場され、274 名もの参加者があり大盛況でした。介助方法を説明する際は、写真や動画を多く取り入れポイントを整理してご説明され、アンケートでも



『非常に解りやすかった。』とのご意見を頂きました。本研修会を通じて、府民の皆様にご介護方法や福祉機器の選択方法について知っていただけ、多くの方に私たち理学療法士の知識と技術を伝達できたと思います。さらに各ブロックでの介護技術講習会を広報する良い機会となりました。来年度も皆様にご満足していただけるような研修会を開催できるよう運営に努めてまいります。